



Neb:io

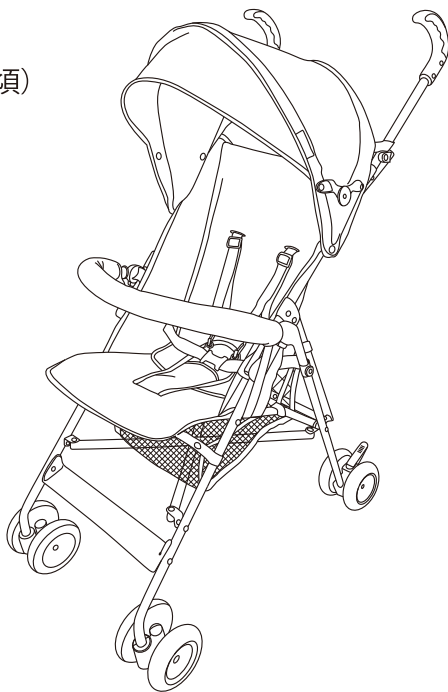
# selefit

メッシュバギー  
セレフィット

取扱説明書

対象年齢：生後7～36ヶ月（3歳頃）

体重条件：～15kg



このたびは「selefit〈セレフィット〉」を  
お買い上げ頂きまして、まことにありがとうございます。

この製品を安全に正しく使用して頂くために、お使いになる  
前にこの取扱説明書をよくお読み頂き、十分に理解してご使用  
下さい。

お読みになったあとも、手元におき大切に保管して下さい。

## 目次

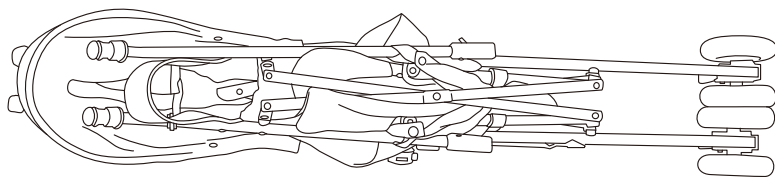
■目次	2
■安全にご使用いただくためのご注意	3
■梱包内容	4
■各部の名称	4
■前輪の付け方	5
■開き方	5
■折りたたみ方	6
■フロントバーの取付け・取外し方法	7
■シートベルトの使用方法	8
■ストッパーの使用方法	9
■シートの取外し方法	10
■安全のための日常点検・管理について	10
■保証書	11

適用範囲	このベビーカーは、一般家庭を対象とし、乳幼児を乗せ、外気浴、買物などに使用する一人乗り用ベビーカーです。
形式の分類	B形 生後7カ月を過ぎおすわりできる時期から使用できるベビーカー。
使用範囲	首が安定し、一人座りできるお子さま。 対象年齢：生後7ヶ月～3歳頃まで
望ましい連続使用時間	1時間以内（乳幼児が疲れない範囲）

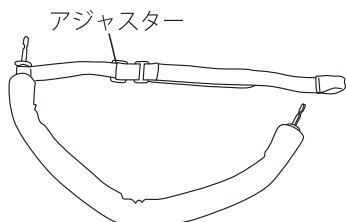
## 安全にご使用いただくためのご注意

- 重大な損傷・事故につながるおそれがありますので、必ず下記のご注意事項をお守り下さい。
- シートベルト（肩ベルト、腰ベルト、股ベルト）は必ず締めて使用して下さい。シートベルトを締めていてもお子さまから目を離さないで下さい。
- お子さまの健康への影響を考え、連続使用時間は1時間以内にとどめて下さい。
- 使用時は上下開閉ロックが確実にかかっているか必ず確認して下さい。
- お子さまを、足乗せや上の座席の中で絶対に立たせないで下さい。
- ハンドル部分に寄りかかったり、物を下げるなど、過度な荷重をかけないで下さい。
- お子さまを乗せたまま製品をもちあげないで下さい。お子さまが落ちたり、製品が折りたたまれて挟まれるおそれがあります。
- ストッパーは車輪の動きを止める簡易なストッパーです。車体の状態によって動き出すことがあります。お子さまを乗せている際は、十分にご注意下さい。
- 折りたたむ際、お子さまが車体に触れていると、折りたたみ部分に指を挟むおそれがあります。お子さまが車体に触れている時に開閉操作をすることはおやめ下さい。
- 電車などの公共機関での利用において、十分な安全性を確保できるものではありません。電車などの公共機関での利用時は、各公共機関の案内など規定を守り、安全に注意してご使用下さい。
- 階段やエスカレーター等段差のあるところ、砂浜や砂利道、凍結した道路や路面状態が悪い場所では使用しないで下さい。
- お子さまを乗せたままでのエスカレーターのご使用はおやめ下さい。思わぬ事故の原因になります。エスカレーターをご使用の際は、必ず製品を折りたたんで下さい。
- お子さまを製品に寄せ降ろしする際には、必ずストッパーをかけ、製品が動かないことを確認して下さい。
- シートベルトを締めても、お子さまが立ち上がる場合がありますので、お子さまの動作には十分にご注意下さい。
- 2人以上のお子さまを一緒に乗せないで下さい。
- 人混みの中で使用する際は、周囲の人に接触しないように十分にご注意下さい。
- お子さまを乗せていない時でも、製品を坂道や車道に近い歩道上などの危険場所に放置しないで下さい。
- 直射日光の下や、炎天下の中のトランクに放置すると、車体本体が高温になり、火傷を起こす可能性がありますので、ご注意下さい。

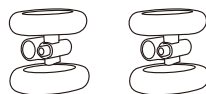
## 梱包内容



本体(折りたたんだ状態)

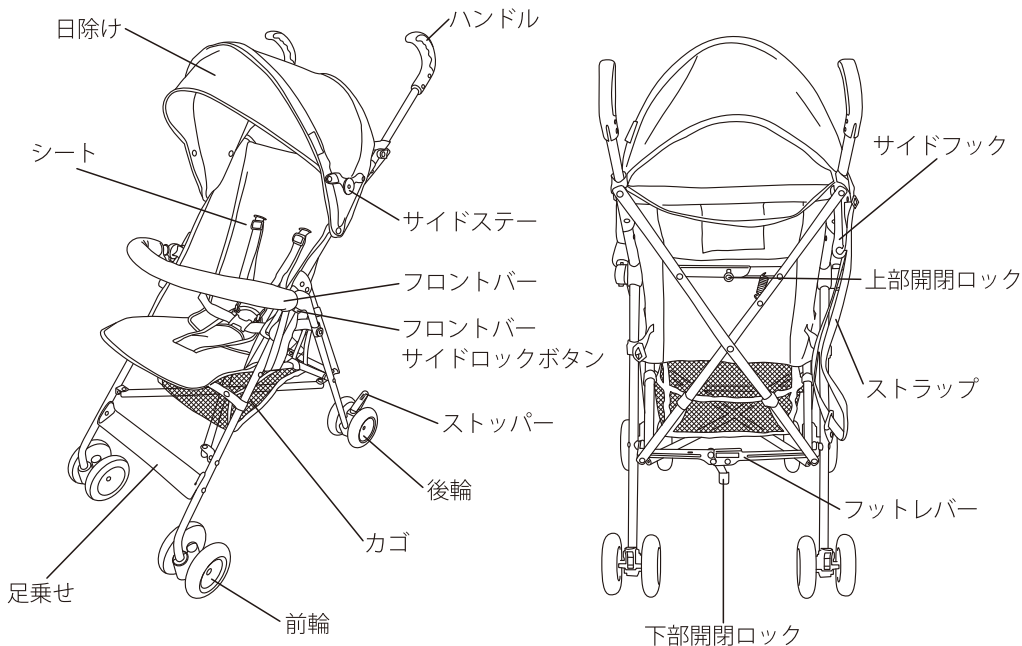


フロントバー(固定ベルト付)

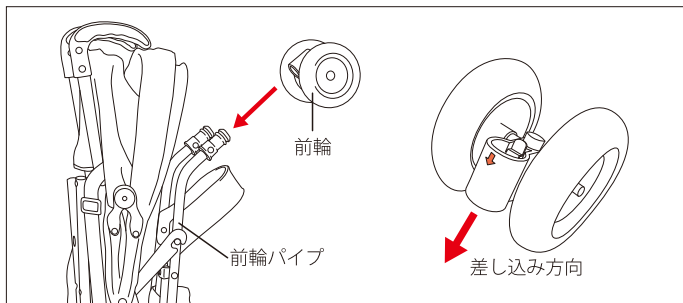


前輪タイヤ×2

## 各部の名称

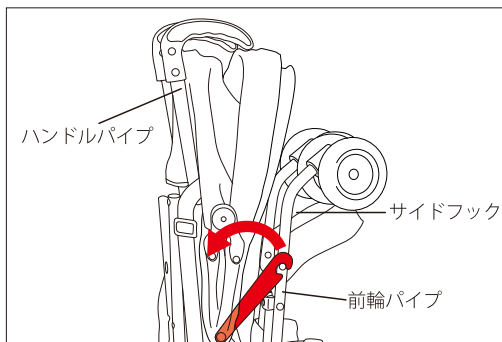


## 前輪の付け方

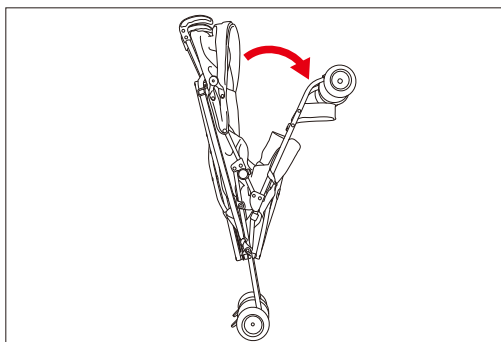


前輪パイプに前輪を差し込み、引っ張り外れないかどうか確認する。

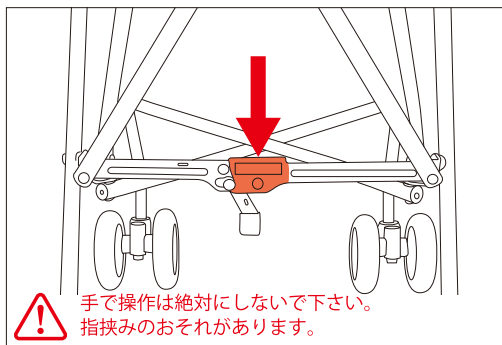
## 開き方



前輪パイプに取付けてあるサイドフックを外す。

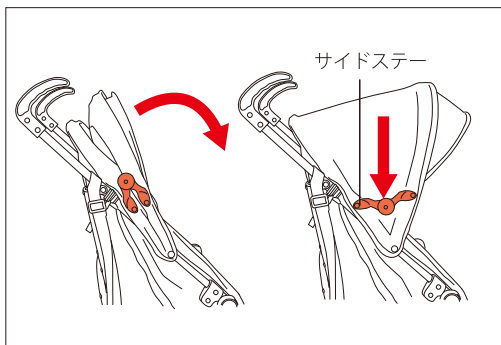


ハンドルを持って前輪パイプを矢印の方向へ開く。



⚠️ 手で操作は絶対にしないで下さい。  
指挟みのおそれがあります。

下部開閉ロックを“カチッ”と音がするまで足で踏み下ろす。

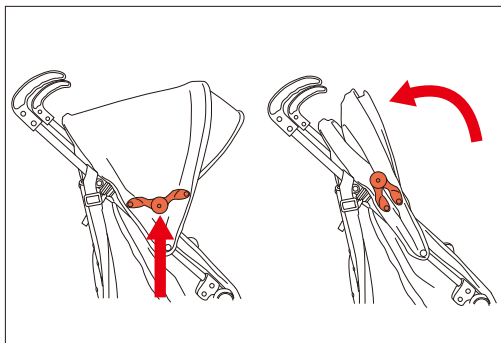


日除けを広げて、サイドステーを上から押さえる。

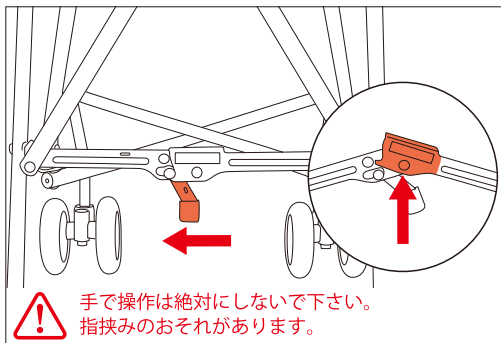
### ⚠️ 注意

- 本体を開く時は、お子さまが指を挟まないように十分ご注意ください。
- ご使用の際は、開閉ロックが必ず掛かっていることを確認してからご使用下さい。
- 下部開閉ロックをかける際は、カゴを踏まないようにご注意ください。

## 折りたたみ方

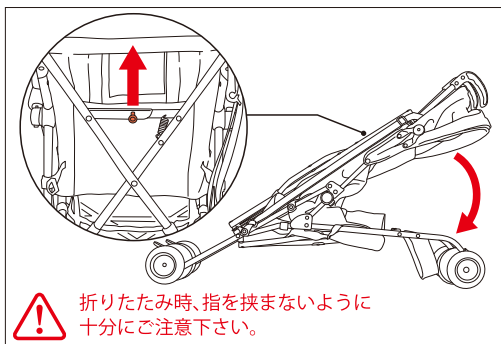


日除けのサイドステーを下から上へ押し上げて、たたむ。



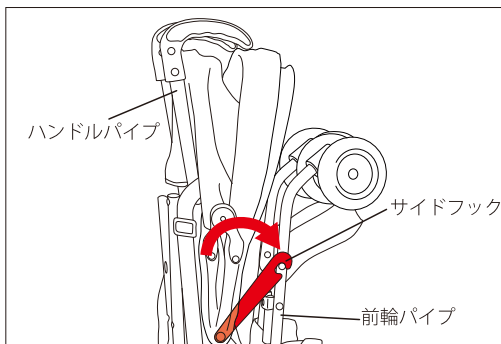
**!** 手で操作は絶対にしないで下さい。  
指挟みのおそれがあります。

下部開閉ロックを左方向へ足で押しながら、上へ押し上げる。



**!** 折りたたみ時、指を挟まないように十分にご注意下さい。

上部開閉ロックを引き上げながら、ハンドルを前方方向へ倒して折りたたむ。



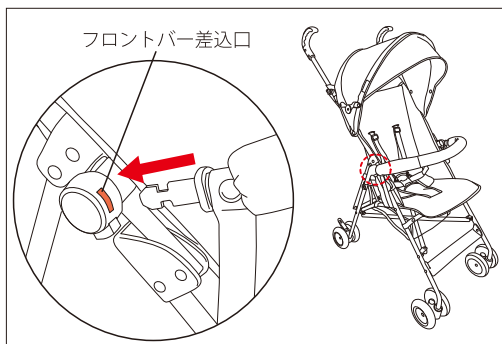
前輪パイプにサイドフックをかける。

### **!** 注意

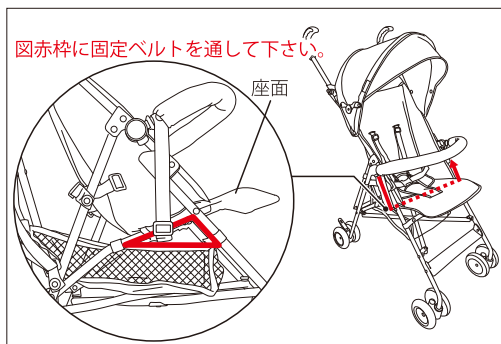
- 折りたたむ前にカゴに荷物が入っていないことを確認して下さい。本体の破損や荷物潰れの原因になります。
- 折りたたむ前に、日除けが完全にたたまれ、ハンドルの位置にまとめられていることを確認して下さい。
- 本体を折りたたむ時は、お子さまが指を挟まないように十分にご注意下さい。
- つま先が露出した履物で操作する場合、ケガに注意して下さい。
- 本体が不意に折りたたまれないよう、ハンドルをしっかりを持ち操作して下さい。
- サイドフックが確実にかかっていることを確認して下さい。急に本体が開きケガをするをおそれがあります。

## フロントバーの取付け・取外し方法

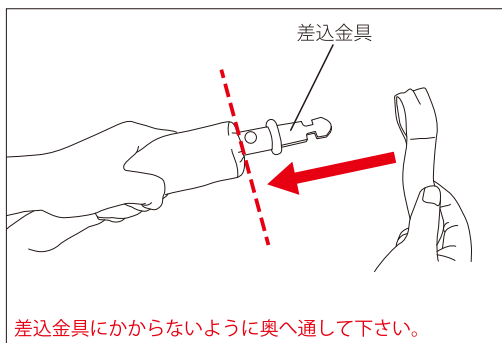
### 取付け方法



本体正面より向かって左側のフロントバー差込口にフロントバーを差し込む。

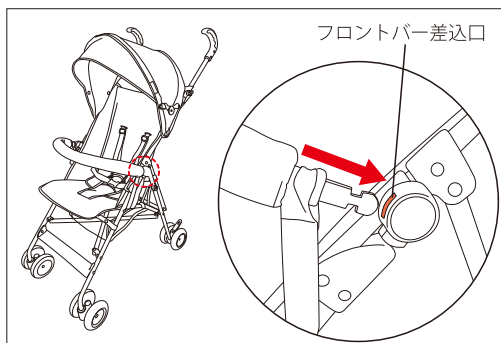


固定されていない側のベルトの端を持ち、ねじれないように図の通り本体座面下へ通す。



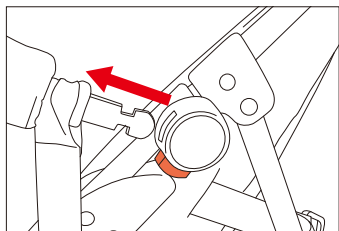
差込金具にかからないように奥へ通して下さい。

フロントバー右側の付け根(点線位置)へベルトの端を通す。

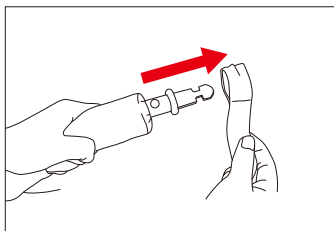


固定ベルトがかまないようにフロントバーを右側差込口へ差し込み、フロントバーでの指挟み防止のため固定ベルトの長さをアジャスターでしめる。

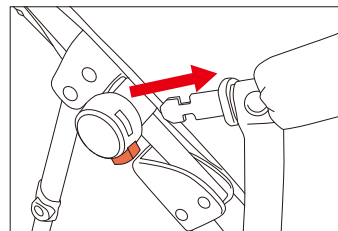
### 取外し方法



本体正面より向かって右側のサイドロックボタン(図赤)を押しながら、フロントバーを引き抜く。



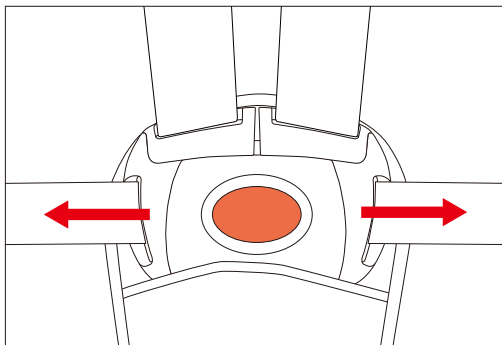
フロントバー右側の付け根から固定ベルトの端を抜き取る。



本体正面より向かって左側のサイドロックボタン(図赤)を押しながら、フロントバーを抜き取る。

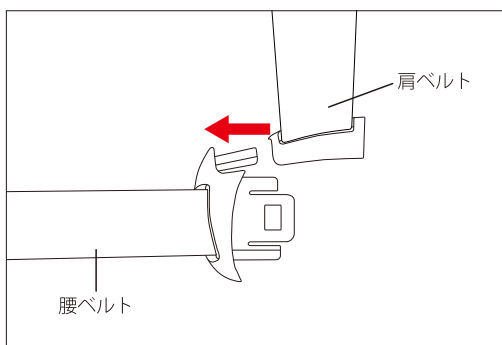
## シートベルトの使用法

### シートベルトを外す方法

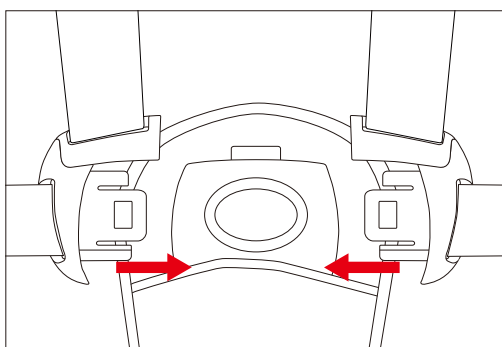


シートベルトを外す場合は、バックル中央のボタン(図赤)を押しながら取外す。

### シートベルトを装着方法



シートベルトをはめる場合は、腰ベルトに肩ベルトを差し込み、腰ベルトをバックルに差し込む。



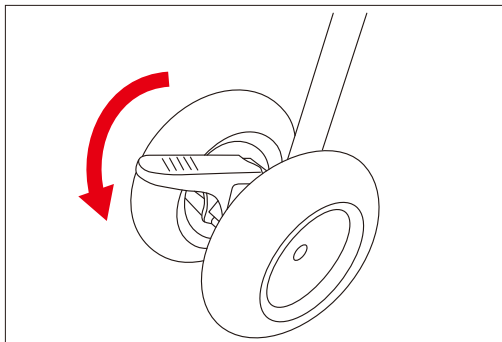
腰ベルトをバックルに“カチッ”となるまで差し込む。

### ⚠ 注意

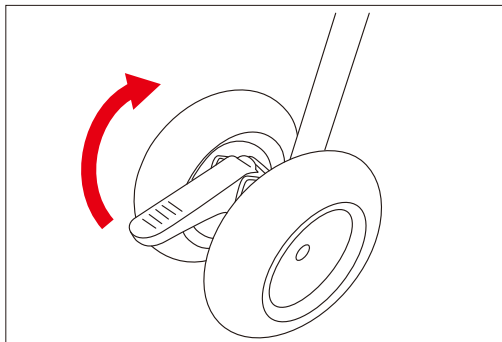
- お子さまをのせる時は、必ずシートベルト(肩ベルト・腰ベルト・股ベルト)を締めて下さい。
- 肩ベルトがお子さまの首等を圧迫しないようにご注意ください。
- シートベルトを締める際、お子さまの指や手などを挟まないように注意して下さい。



## ストッパーの使用方法



ストッパーをかける場合は、左右の後輪ストッパーを足で下げる。

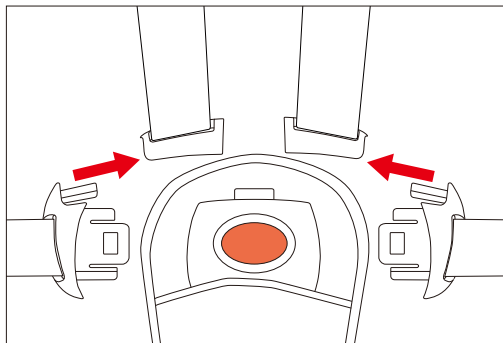


ストッパーを解除する場合は左右の後輪ストッパーを足で上げる。

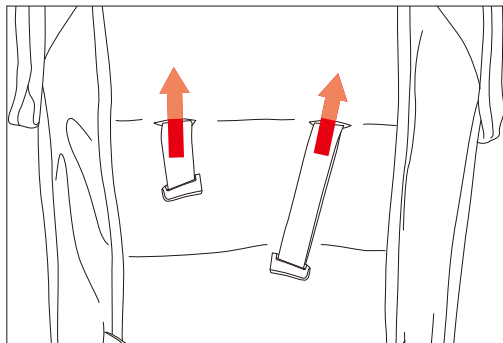
### 注意

- ストッパーは必ず左右それぞれ下げてロックして下さい。片方のストッパーだけをロックすると、ロックした車輪を中心に回転し、事故やケガにつながりますのでご注意ください。
- お子さまを乗せている時、ストッパーをかけていても、路上の状態により動いてしまうおそれがありますので、十分にご注意下さい。
- お子さまを乗せたまま、本体から離れないで下さい。

## シートの取外し方法



シートベルトを外し、腰ベルトから肩ベルトを外す。



シートの肩ベルト穴から、肩ベルトを抜く。

## 安全のための日常点検・管理について

- 長時間使用を繰り返すことにより、各部が消耗劣化するおそれがありますので、ご使用前には必ずシートベルトや各フレーム、車輪などに異常がないかを確認下さい。
- 使用中の車輪など、各部から異常音が発生したり、車輪の回転が重くなったりした場合は、直ちに使用を中断し、各部に異常がないかを点検して下さい。
- 過度な荷重や衝撃が加わった場合、また破損・異常を発見した場合は、直ちに使用をおやめ下さい。
- ぬかるみや砂場など悪路でのご使用はおやめ下さい。車輪が回らなくなったり、各部の異常音の原因になります。
- ベビーカーを雨等で濡れたままにしていると、錆が発生し強度が弱くなる原因になります。濡れた場合は、必ず水分をふき取るようにして下さい。

## シートの洗濯について

- 中性洗剤を使い 30℃までのぬるま湯で手洗いして下さい。
- 乾燥機は使用しないで下さい。
- ドライクリーニングはかけないで下さい。
- アイロンがけはしないで下さい。